

＜先週の説教から＞

『ルカ54—言葉が持つ癒しの力』

武田真治牧師

列王記下 5:9~14 ルカ福音書 7:6~10

『ルカによる福音書』の著者であり、編集者でもあるルカはイエス様のガリラヤ伝道に於ける大事な『癒しの業』として、7章から2つの病の癒やしを選んでいます。2つ目の『ナインのやもめの息子を生き返らせる』は、イエス様が死人を生き返らせる出来事ですから、これは本当に重要であることは誰の目にも明らかでしょう。そして、今日の『百人隊長の僕をいやす』がそれよりも先に大事だとルカが感じた点は、この百人隊長がイエス様の直接的な癒しの業(=悪い患部に触る、その人の手を取る等)をしないで『ひと言おっしゃってください。そして、わたしの僕をいやしてください。わたしも権威の下に置かれている者ですが、わたしの下には兵隊があり、ひとりに「行け」と言えば行きますし、「これをしろ」と言えば、そのとおりにします』とイエス様にお願いをしている点に尽きるといえます。これは離れた場所からでも、イエス様がそう望まれ“聖霊に”命じられれば「その通りになる=癒しの業が出来る」という確固たる信仰だからです。それ程の“力と権威”とをイエス様が持っておられることを信じているという「信仰の表明」もあるからなのです。

確かに、普通に考えると“病の癒し”は実際に出かけて行って、患者の様子を診て、その患部に手を当て、祈り求めることによって始めて癒しの奇跡が起こると考えます。しかし、この百人隊長は“イエス様の言葉”だけで奇跡は起こると信じているのです。この姿は、創世記の最初にある「天地創造」にある“言葉による創造”を思い浮かべさせます。神様が『光あれ』と命じられると「光が灯った=創造された」でした。同じように、イエス様も『よろしい、癒す』とひと言、命じられれば「そのようになる」と。イエス様に神様の力が宿っていると信じているから言い得ることなのでしょう。故に、イエス様も「イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない」と彼の信仰を褒められたのでした。

考えてみれば、現代に生きる私たちもまさにこの“百人隊長の信仰”を求められていると言っても過言ではないと思います。聖書に残されている“イエス様のみ言葉”が私にとって《真実》であり、今でも《すごい力を持っている》ことを信じ、いつか、私たちへのイエス様の“約束の言葉”がこの世界に実現することを、まさに《信じて生きること》が“私たちの信仰”的姿であるからです。これは百人隊長の信仰ととても通じる点があるのはないでしょうか。

天に居られるイエス様からのご命令によって、私たちは今を生かされています。今も聖霊を用いて、私たちと共に居て守り、導いて下さっています。そのことを信じ切ることができるのは、この百人隊長の信仰と同じだと言えます。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月24日(水) 20:00
II. 9月25日(木) 10:30

聖書研究：ローマの信徒への手紙

祈祷主題：別帳会員を覚えて

担当者：(水) SM (木) MM

祈りに覚える人：ASさん AAさん

*ひつじ雲の会 9月22日(火) 10:00~12:00

【教勢報告】

主日礼拝 男18 女55 計73
祈祷会 I. 男2 女2 計4 II. 男1 女8 計9
日曜学校 幼稚科3 小中科8 計11
ハンナの会<9月16日(火)> 男2 女7 計9

【次週主日礼拝】 9月28日(日)

聖書：詩編 55:1~17

マタイによる福音書 26:47~54

説教：「詩編55-Ⓐ — 気が狂いそうです！」
武田真治牧師

讃美歌：51(1)、32、211、544、432、24(1)

【次週当番表】

司式：IK長老 奏楽：HN長老 礼拝：KY長老

献金：NY TK 受付：KH ST

会堂準備：OK KH KA TN

NE

看板：NY 週報：IT お花：IY

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会 ・求道者会
礼拝後：・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習
・牧会/伝道/礼拝/社会教育委員会

66 - 38

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 9月 21日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549